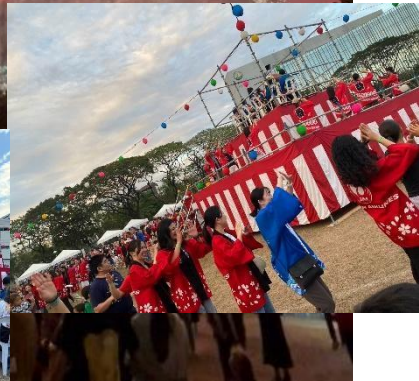


The 23rd Manila Japanese Association

盆踊り大会



日本人会で最大級のイベント「盆踊り大会」が今年も盛大に行われた。
今号からフルカラーでお届けする本誌で当日の様子を色鮮やかにご紹介！

Are you ready?



大人気の金魚すくい



ハンドメイド雑貨
安くてかわいい！



絵・akinori wada



たくさんのブースが全力で
みんなをお出迎え！



狙いの食べ物は18時前
に行くのが確実！



『マニラ日本人会盆踊り大会のお礼』

マニラ日本人会盆踊り実行委員長

岡本 和典

マニラ日本人会最大のイベントである第 23 回マニラ日本人会盆踊り大会を、2025 年 3 月 8 日（土）に盛大に開催することができました。

本大会の開催にあたり、大使館の皆さま、マニラ日本人学校の皆さま、エキジビションにご出演いただいた皆さま、出店者の皆さま、日本人会盆踊り実行委員会の皆さま、日本人会事務局の皆さま、そしてご協力いただいたすべての皆さまに、心より感謝申し上げます。

この盆踊り大会は、23 回の歴史を重ねてきたイベントですが、昨年より日本人会会員以外の皆さまにも有料でご参加いただけるよう変更しました。かつては「日本人会による日本人の為のイベント」でしたが、今では「日本人会による日比友好と国際交流を深めるイベント」へと大きく舵を切っています。その結果、昨年今年と 5,000 人規模のイベントへと成長し、日本人会の皆さまに楽しんでいただくだけでなく、日本文化をフィリピンや世界の方々に広める貴重な機会へと変貌を遂げました。

今年の参加者も約半数がフィリピンの方々でしたが、昨年以上に熱気に満ち、皆さんが食べて、飲んで、踊って、笑顔で楽しんでいる姿を拝見し、主催者として心からの喜びを感じまし

た。大会のフィナーレを飾った大都会の夜空に咲く花火を見上げ、感動の歓が響き渡る中、私の胸にも熱い想いが込み上げてきました。

参加された日本人会会員の皆さまへのアンケートでは、93%が「良かった」「すごく良かった」との高い評価をくださいました。これほど大規模なイベントとなった今、何よりも安全を第一に、より快適に楽しめる大会となるよう、皆さまのお声を大切に、さらなる向上を目指してまいります。

そして来年、2026年は日比国交正常化70周年という、大変意義深い節目の年を迎えます。70年前、日本とフィリピンは新たな関係を築き、お互いの文化や経済、そして人々の交流を深めながら、今日に至るまで強い絆を育んできました。この記念すべき年に、私たちの盆踊り大会がさらなる日比友好の架け橋となることを願い、70年の歴史を振り返りながら、新たな未来へとつながる一步を皆さまとともに踏み出していきたいと思えます。

マニラに暮らす日本人が故郷を想い、フィリピンや世界の方々も日本をもっと好きになる——そして国籍を超え、皆が笑顔で楽しめる盆踊り大会を、これからも共に創り上げていきましょう！

Playback



今年もフィリピンの夜空にフィナーレの花火が盛大に打ち上がった。ここフィリピンにいる日本人にとってはお馴染みかもしれない。日本で見る花火は遠く大きな空に広がるイメージがあるが、フィリピンの夜空に咲く花火は至近距離で迫力満点だ。3月8日（土）、第23回マニラ日本人会主催の盆踊り大会が今年もマニラ日本人学校で幕を開けた。今年の来場者数は5000人を超え、過去最高規模に達した。

マニラ日本人会の岡本和典会長は関係者や来場者に感謝を述べ、「日本でもここまで大きな盆踊りイベントはなく、フィリピンにいながらこれだけの規模、そして本当の日本文化を感じられる素晴らしいイベント」と説明。「しっかり飲んで。しっかり食べて。しっかり踊って。いっぱい笑って楽しんで」と激励した。

今回が初参加だという駐比日本国大使の遠藤和也氏は国際婦人デーを祝して「全ての女性の皆様、のんびりと同イベントを楽しんでほしい」と話した。最後に「皆さんの参加があっはじめて盛り上がりのある、立派な行事になる」と全ての参加者に向けて感謝を述べていた。

左から・二村事務局長、遠藤大使、岡本会長
大会開始直後に3人で和やかに話しているところをキャッチ。「マニラの高層ビル群に櫓がある風景が新鮮で面白いですよね。私の挨拶なんて誰も聞いてないと思いますが挨拶してきます(笑)」と、笑顔の遠藤大使。相変わらず気さくで素敵な方！



来 場者は日本人の家族が多くみられた一方で、地元フィリピン人が友人や家族とアニメのコスチュームを着こなしながら楽しむ姿や（The British School Manila が近いからだろうか）欧米の方がポツリポツリとイベントを見たり、たこ焼きを食べる姿も見受けられた。



お 祭りと言えば、屋台。今年も日本食を中心にさまざまな企業が出店。ローカルにも大人気の本槍はここでも大行列ができていた。居酒屋おおきにや蛸一など老舗が連ねる中、昨年の2月にオープンしたという、ひだまりレストランや Estate Wine など新たな顔ぶれも出店していた。ひだまりレストランの関係者は「焼きそばが一瞬で完売。もうちょっと用意してくればよかった」と嬉しい悲鳴も聞かれた。うな吉のうな丼も 18 時前には売り切れるなど、いずれも大盛況だった。



盆踊り大会をひとときわ盛り上げていたのが、エキシビション。

（こちらの詳細は後ろのページで！）幼稚園や小学校の子どもたちが流行りの曲に合わせてキュートなダンスを披露していた。保護者の視線は我が子に釘付け。自分の身長ほどの高さがある

脚立から撮影する

お父さん、お母さん

の姿はなんとも温かい

気持ちにさせてくれた。

ステージには

地元メディアにも取り

上げられている日

本人バンドの Sky



Garden や日本の歌を日本人より上手く歌う女性歌手のSharlla さんも登場。熱狂的ファンもおられるようで、ステージ傍らで両手にペンライトを持ったフィリピン人ファンが声援を送っていた。



今回が盆踊り大会初参加だという司会を務めた横川愛作さんは「フィリピン、マニラ、そしてBGCのど真ん中で日本人コミュニティ、たくさんのフィリピン人が日本のお祭りの屋台や音楽をともに楽しみ、自然に一体になっていることがとても温かい気持ちさせてくれる」「また参加したいと思うし、このイベントをもっと大きくするための貢献ができれば」と話してくれた。



出場者の声

日本文化に興味を持つフィリピン人の観客にもより楽しんで頂けるよう、フィリピン人パフォーマーや日本舞踊、三味線演奏なども加わり、パワーアップした今年の盆踊り大会！

そんな会場を盛り上げてくれた、出場者の方々から寄せられた投稿を一挙にご紹介します。準備から当日に至るまで、それぞれの想いが込められた文章に心が熱くなってしまいます。

出場グループ一覧



櫓太鼓

- ・マニラ日本人学校太鼓クラブ／扇寿栄之丞(三味線)

櫓踊り



Philippine Wacoal / Team JAL / Team 大使館

エキジビション

- ・Dream Girls & Boys(ダンス)
- ・Kelly Primary School(鳴子踊りと獅子舞、扇子とりボンダンス)
- ・ウィズこども園 ゆうき組 / ひかり組(Hip Hop ダンス)
- ・Angel Baton(チアダンス) ・Sky Garden(Music)
- ・Na Lei Melia Hula Studio(フラダンス)
- ・LIV Dance Academy(Hip Hop ダンス) 日本舞踊
- ・マニラ日本人社交ダンス部 ・歌手 Sharlla



マニラ日本人学校 和太鼓クラブ

『最高の思い出』



今年はやぐら踊りの太鼓だけでなく、ステージでも演奏させていただけることになり、日本舞踊の扇寿栄之丞さんとのコラボレーションも実現しました。

毎日、練習する中で、最初は難しいと感じていたことが出来るようになり、自分たちの表現ができるようになったことはとてもうれしかったです。

多くの方にサポートしていただきながら、おかげ様でステージもやぐらも精一杯やり切ることができました。3月で帰国してしまうメンバーからも「やぐらで太鼓ができて楽しかった。」「最高の

思い出になった」という言葉があり、チームとしても大きな達成感を味わわせていただきました。ありがとうございました。

今回、日本からご参加の
様が、マニラ日本人会 和太鼓クラブと獅子の衣装による日本舞踊と三味線でコラボして下さいました。



8歳より日本舞踊を始められ、現在は関西日本舞踊連盟会長を務められています。1999年にSENJU 舞踊団を設立され、以降アメリカ、カナダ、ヨーロッパや東南アジア等、世界各地で500回以上のワークショップや公演を行っています。

中でもフィリピンでは公演を重ね、現在はミンダナオ国際大学客員教授として日本の伝統芸能を広める活動されています。また世界の人々に日本文化の魅力を伝えるため、獅子のご衣装で世界の街を歩いていらっしゃる様子は、Instagram「獅子の日常」でも発信されています。



Philippine Wacoal

『装い新たに、Bon-Odori の伝統を紡ぐ』

福本 裕也



私たちワコールは、今年も櫓での盆踊りに参加をさせて頂きました。今回は約 20 年ぶりにオリジナル法被を新調したこともあり、デザイン製作から始まり、恒例の弊社倉庫スペースを活用した合同練習などを行いました。月末月初の繁忙期にも関わらず、当日これないメンバーも加わって練習している姿など、各メンバーの『本気度』を目の当たりにしました。メンバーの結束力やイベントに対する情熱的な姿勢と、日本の伝統文化とが交わる姿に感銘を覚えた次第です。

大会当日では、櫓の上から沢山の参加者の方々による熱気と共に、皆さまが笑顔で輪になって踊られている姿には美しさすら覚えました。また伝統とは、国境を超えても人の手によって紡ぐことが出来る素晴らしいものだと感じました。

最後になりますが、大会にご尽力された全ての方々への感謝と共に、今後もワコールが皆様に貢献出来ることを願っています。

TEAM JAL

日本航空株式会社 船田 真帆

今年も盆踊りの季節がやってきました。2年前、初めて盆踊り大会に参加した時に、色とりどりの提灯の灯りと、中心に大きくそびえ立つ櫓を前に、まるで日本に帰ってきたかのような気持ちになったことを今でもよく覚えています。

TEAMJALは、毎年フィリピン人スタッフと共に盆踊りを踊りながら、微力ながら大会を盛り上げようと参加しています。この大会で盆踊りを初めて踊るスタッフが多く、普段聞き慣れた音楽やステップとは異なるリズムをしっかりと感じながら練習を重ねました。そしていざ本番。最初は恐る恐るだったスタッフの表情とステップが次第に笑顔に変わり、踊りこなしていきます。さらに、回を重ねるごとに来場者の方々も見よう見まねで踊りだし、最後の回には日本人もフィリピン人も関係なく、老若男女の大きな輪が生まれました。たとえ話す言葉が違えども、音楽と踊りさえあれば一緒にその場の空気を感じ楽しむことができる、それがこの盆踊り大会の魅力でもあるのではないのでしょうか。

これからもこの大会が日本人にとっての母国を感じられる場所、フィリピン人にとって日本文化を感じられる場所となり、風物詩の一つとして続いていくことを願っています。



TEAM 大使館

『待ちに待った盆踊り大会』 Team 大使館幹事

当館では日本文化が大好きなナショナルスタッフが多数在籍しており、毎年法被を着てマニラに暮らす日本人及び日本文化が大好きなフィリピン人と一緒に盆踊りするこの日を大変楽しみにしております。

総勢27名の大使館職員で参加させていただきましたが、今年は職員の子供達も一緒に盆踊りに参加し、「みんな櫓(やぐら)で踊っている人を真似しながら盆踊りするからね。しっかり練習しようね。」とノッパとママが教えた甲斐あって、立派に役目を果たしてくれました。子供達にとってもマニラの地で盆踊りしたことは一生の思い出になったことでしょう。

さて、気が早いですが、2026年の盆踊り大会は「日比国交正常化70周年」の記念すべき年に開催されます。

今日、日比関係はマニラ日本人会をはじめマニラで生活する皆様のおかげで黄金時代を迎えております。大使館職員も日比関係がさらに深化を遂げる一年なりますよう皆様と力を合わせて精一杯頑張ります。

最後になりましたが、このような素晴らしい大会を企画・準備いただきましたマニラ日本人会の皆様、屋台を出店して会場を盛り上げていただきました皆様、そし

て当日盆踊り大会に参加されたすべての方々に心から御礼を申し上げます。

本当にありがとうございました。





ANGEL BATON

2007年に当時5歳だった娘とお友達で楽しく踊ろう！とバトンを教え出したのがエンジェルバトンの始まりです。

盆踊り大会には2008年から毎年参加させて頂きましたが、2020年のパンデミックで開催中断となりました。その後はマカティスクエア2階のスタジオで、毎週日曜日10時から2時間のレッスンは続けていました。

今年は子供達の要望もあり、6年振りに盆踊り大会に戻ってきました。立派なステージもできて見晴らし最高。18名の子供達は元氣一杯にライオンキングとファイアーボールの2曲を見事に披露してくれました。バトンを投げる大技があり、落とさないように何度も練習を繰り返し本番に挑みました。取れた瞬間の達成感。努力を積み重ねることの大切さを体感しどんどん成長しました。また、美しい衣装も子供達の笑顔を更に輝かせてくれました。(衣装製作 barbiedancewear@mcs)

開催、運営、進行、片付けに携わってくださった日本人会の皆様に心から感謝申し上げます。マニラでの素晴らしい思い出が子供達やご家族の胸に刻まれ忘れられない日になりました。ありがとうございました。



『盆踊り大会』

佐田麻友子

毎年、生徒のみんながとても楽しみにしている盆踊り大会に今年も出演する事が出来ました。日々レッスンを重ねて頑張っている成果を沢山の方達の前で披露する事が出来、嬉しく思います。今年も6チーム、総勢101名のメンバーで出演しました。どのチームもそれぞれ違ったカラーで最高のパフォーマンスを披露する事が出来ました。こんなに素敵な時間を持たせて頂き本当にあ

りがとうございました!!

来年も更にパワーアップした Dream Girls & Boys を見て頂けるように頑張ります!!



Kelly Primary School K2 & K3

私達は、同じ幼稚園の K2(年中)・K3(年長)クラスです。

K2 は、旗を持って、『怪獣の花唄』の曲でフラッグダンス、
K3 は、『Show(唱)』の曲に合わせて、リボンダンスを踊りました。たくさんの方の前でも、今までの練習通り、しっかりと楽しく踊ることができました。

K3 は卒園の学年なので、みんなでよい思い出ができました。みなさん応援してくれて、ありがとうございました。



ウィズこども園 ひかり組

『最後の大舞台：盆踊り大会で輝く瞬間』

ウィズこども園 小野 誠

ひかり組の年長クラスの園児たちが、盆踊り大会でダンスパフォーマンスを披露しました。子どもたちが自信に満ちた姿で、ひたむきに挑戦する様子を見てると、心が熱くなりました。コロナ禍でマスクを着用しながら園生活を送っていた子どもたちが、こんなにも立派に成長したことに深い感動を覚えずにはいられませんでした。

毎年、この盆踊り大会の午前中には卒園式を行っており、このイベントは園児たちにとって最後の大切な思い出づくりの場となります。中には盆踊り大会が最後のイベントになり、日本に帰る園児もいるため、寂しい気持ちもありますが、築き上げたチームワークやお互いを思いやる気持ちは、本当に輝かしいものでした。

日本人会・盆踊り大会実行委員会の皆様には、毎年、ご尽力をいただきながらイベントの継続をしていただいております。心から感謝申し上げます。



Nā Lei Melia Hula Studio



『最後のフラダンス』

田中琴葉

私はフィリピンでフラダンス（フラ）を6年間習っています。そして、今年が最後の盆踊り大会で、最後のフラの発表の舞台でした。この日の為に練習の時からいつもより気合をいれて頑張りました。レッスンでは先生の動きをよく見て動き、家では妹と一緒に練習を頑張りました。当日の午前中は雨が降って開催されるか不安でしたが、午後には雨が止んで良かったです。今までたくさん練習してきた結果、本番では大きなミスなく踊ることができました。

昨年の夏以降メンバーが増えたので、フラの美しさや優雅な動きをいつもより良く見せることができました。そして何より楽しく踊ることができました。笑顔で周りを見ながら踊れたので、こ

れまでで一番最高の発表会になりました。また、盆踊り大会で踊る機会があったおかげでフラのメンバーに最後の感謝の言葉を伝えることができました。

始めに書いた通り、私は6年間フラを習い続けてきました。なので、フラには言葉に表せないほどたくさんの思い出があります。私はもう Nā Lei Melia Hula Studio で一緒にフラはできませんが、これからもメンバーがどんどん増えてたくさんの方がフラを楽しんでいるチームになったら嬉しいです。

LIV Dance Academy and Entertainment

『パッションイズム』

ASAMI

パッションイズムとは、思想を意味する言葉ですが、PASSION(情熱)と RHYTHM(リズム)をかけ合わせた意味も込めており、私がリブダンスアカデミーのメンバーと日々のレッスンの中で大事にしている想いです。

年齢や性別関係なく、自分の好きなものに情熱を注げる人は誰から見ても輝きカッコよく見えるものです。

当アカデミーは 3 歳から大人まで幅広く、現在 150 名超えるダンサーが所属していますが、メンバー全員にこのパッションイズムの精神が宿っていると自信を持って言えます！

今回の盆踊り大会では全クラスのダンサーを披露することはできませんでしたが、選抜メンバーの 80 名でパフォーマンスを披露しました。

全員リハーサルは 2 回スタジオ、2 回大学の体育館での合計 4 回のみ！！たったの 4 回でパフォーマンスを仕上げることができるのか私自身不安もありましたが、とにかくメンバー達のモチベーションが高く、積極的に個人練習や友達との練習会などを重ねてくれたおかげで良い作品に仕上がりました。

特に、最初と最後の全員パートのダンスは色々なクラスが混ざって一緒に踊ったことでお互い良い刺激にもなり、盆踊り大会終了後他のダンスジャンルへの興味や更なる意欲に繋がっているように感じます。

ダンサー達にとって、日々のスキル磨きの成果を披露する場が

あることはとても貴重で大切なものとなります。毎年こうやってパフォーマンスを披露させていただける機会を作っていただき本当にありがとうございます。

ダンスに本気で向き合い、より高いところを目指して一緒に努力してくれるメンバーがこんなにもたくさんいてくれることに感謝の気持ちとリスペクト!!!!

そして、また今日から大好きなリブダンスダンサーズと共に汗だくでダンスを楽しみ、心身ともにスキルアップを目指しダンス熱を燃やし続けていこうと思います!!



マニラ日本人社交ダンス部

宮地 正人

盆踊りでは、多くの人たちの前で踊ることができて、とても楽しかったです。僕は 50 代になって人生で初めてマニラで社交ダンスを始めました。社交ダンスは、いつでも誰でも出来ます。才能なんて要りません。社交ダンスにご興味のある方は、是非、私にご連絡ください。

(連絡先：Masato Miyachi 0917-622-0898)



フィリピン・アーティストも参加!!

Sharlla

2019年5月に始まったばかりのフィリピン版の「ドラえもん」(小学館)の主題歌歌手に抜擢される。日本でもおなじみのドラえもんの「夢をかなえて」をタガログ語で歌い、プロ歌手としての新たな一歩を歩む。(ドラえもんは現在 ABS-CBN チャンネルにて放送中。)

僅か18才でありながら MISIA を思い出させる、パワフルな歌声が魅力の歌手であり、現在フィリピンにて日本語のカバーやタガログ語の日本語訳等で話題を呼んでいる。



歌手業としてのデビューは2016年に ABS-CBN の"The Voice Kids"と歌番組コンテストに出演した時であり。オーディションビデオでは当時11才とは思えない歌唱力でセリーン・ディオンの"Power Of Love"を熱唱!審査員全員を驚かせた動画が Youtube 上で6百万回再生を突破!。コンテストには優勝出来なかったものの、最終選考まで残り、その経験を通して今まで以上に歌手になりたいと言う夢を持つようになった。それからあらゆるジャンルの歌を試しつつ、日本語や韓国語を开花させる。

2018年にはフィリピンの有名なシンガーソングライターの

YENG CONSTANTINO さんのヒット曲である「IKAW」の日本語版をリリースし、フェースブック上で話題となる。現在4百万回再生を突破し、YENG さんご本人も絶賛！また新たに日本のファン層も生まれ、日本でもいくつかのコンサートやイベント出演を行っている。

日本をテーマとしたイベントでの出演を始め、世界クラスの歌唱力を武器にあらゆるジャンルの音楽祭でも出演。音楽において数々の賞も受賞している。これから世界に羽ばたくシャリラの活躍に今後も注目が集まる。

SKY GARDEN

GMA Music 所属のアーティスト Sky Garden です。J-Rock とオリジナル・フィリピン・ミュージック (OPM) を融合させた、新感覚の「ジャピノイ・ロック」で、幅広い世代のファンを魅了しています！

GMA の大ヒット歴史ドラマ『Pulang Araw』では、感動のラブテーマソング「SOREDEMO」を担当し、さらにはキャストとしても出演しています。

